

## 令和3年度

# 第1回 栄区セーフコミュニティ推進協議会 災害安全対策分科会

書面により開催

## 1 議 題

- (1) 令和3年度役員について
- (2) 令和3年度分科会活動について
- (3) 栄区地域防災拠点運営委員会連絡協議会への提案について

## 2 報 告

- (1) 令和2年度地域防災拠点訓練実施状況について

## 令和2年度 災害安全対策分科会委員名簿（参考）

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区連合町内会	磯崎 保和	栄区連合町内会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
委員	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	小林 朋子	事務局長
	栄区小学校長会	福嶋 圭輔	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	佐藤 典之	飯島中学校校長
事務局		小泉 信義	栄区副区長
		伊藤 ゆかり	栄区総務課長
		御所脇 佑介 山口 裕司	危機管理担当係長
		大野 和義	福祉保健課事業企画担当係長
		大谷 雅弘	栄土木事務所管理係長
		牧野 豊	栄消防署予防課長

※敬称略

# 議題 1

## 令和3年度 災害安全対策分科会委員名簿（案）

所 属		氏 名	役 職
座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	毛利 勝男	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会会長
副座長	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会	加藤 重雄	栄区地域防災拠点 運営委員会連絡協議会副会長
委員	栄消防団	加藤 正基	副団長
	栄火災予防協会	角田 宏子	会長
	栄火災予防協会	小石 榮美	副会長
	栄区自衛消防隊連絡協議会	武田 政美	住友電工株式会社 横浜製作所
	栄区社会福祉協議会	室井 慶之	事務局長
	栄区小学校長会	山崎 浩一郎	本郷小学校校長
	栄区中学校長会	松田 肇	飯島中学校校長
事務局		藤澤 智明	栄区副区長
		伏見 和久	栄区総務課長
		芦葉 昇平 山口 裕司	危機管理担当係長
		大野 和義	福祉保健課事業企画担当係長
		大谷 雅弘	栄土木事務所管理係長
		森田 進一	栄消防署総務・予防課予防係長

※敬称略。赤字は令和3年度新規就任。

## 議題 2

### 令和 3 年度 災害安全対策分科会の活動について

#### 1 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報

チラシを使用した広報を行います。

- ・区役所窓口での配布
- ・大船駅 PR ボックスでの配架
- ・栄消防署の防災訪問での配布
- ・総務課防災担当の出前講座での配布

#### 2 「栄防災ノート」の配布

令和 2 年度に制作した「栄防災ノート」を引き続き配布し、区民の災害対策を推進します。

令和 3 年度は、令和 2 年度版の内容を踏まえ一部改訂します。

#### 3 地域防災拠点への提案について

「議題 3」参照

#### 4 災害時要援護者支援の課題に向けた取組

各地域で要援護者支援の取組が進むよう、下記取組を実施します。

- ・栄区内小中学校長に対して、概ね 3 教室を確保できるように依頼します。
- ・災害時要援護者避難支援訓練を促進するため、自治会町内会に補助を行います。
- ・要援護者支援をテーマとした出前講座の実施や、リーフレット「災害時要援護者支援ガイド」の配付、希望のあった自治会町内会への要援護者名簿の提供などにより、支援の取組を推進します。

栄区地域防災拠点運営委員会会長 各位

セーフコミュニティ災害安全対策分科会

## セーフコミュニティ災害安全対策分科会からの提案について

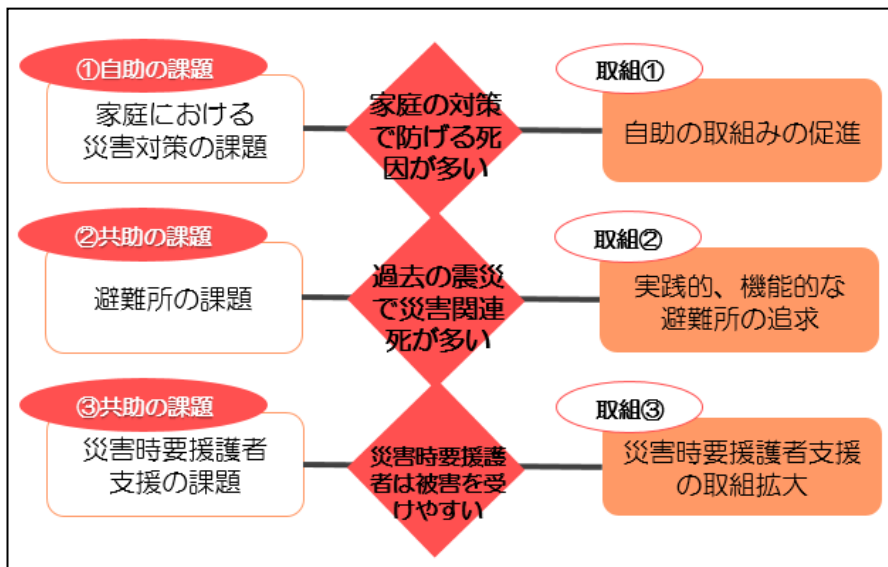
セーフコミュニティ災害安全対策分科会では、令和元年度に災害安全対策の課題と取組について整理を行い、具体的な取組内容を示し、課題について取り組んできました。

引き続き、今年度も課題に取り組んでいきますので、以下の項目についてご協力をいただきますようお願い申し上げます。

### 1 災害安全対策分科会の課題と取組の概要について

- (1) 家庭における災害対策の課題 自助の課題  
家庭における事前の備えの啓発を行います。
  
- (2) 避難所の課題 共助の課題①  
災害関連死の防止に向けて、実践的・機能的な避難所を追求するための避難所運営訓練を行います。
  
- (3) 災害時要援護者支援の課題 共助の課題②  
災害時に要援護者は被害を受けやすい傾向にあることから、災害時要援護者支援の取組を行います。

【参考】課題と取組のイメージ（令和元年度から）



## 2 課題に対する具体的な取組について

### (1) 家庭における災害対策の課題に対する取組 **自助の課題**

#### ア 家具転倒防止対策助成事業及び耐震補強の広報（継続）


チラシ（別添）を使用した広報を行います。引き続きご協力をお願いします。

#### イ 「栄防災ノート」の増刷・配布（新規）

令和2年度に制作した「栄防災ノート」を増刷・配布します。つきましては、配布、活用にご協力をお願いします。

**「栄防災ノート」概要**

各世帯で災害に備えるために必要な準備や避難行動、避難先、情報の収集方法などについてチェックと書き込みができるノートです。各ページを記入すると、オリジナル防災ノートが完成します。発災した時に携帯しやすいA5サイズです。



### (2) 避難所の課題に対する取組：災害関連死の防止に向けた避難所運営 **共助の課題①**

災害関連死（※1）を防止するためには、各避難所が機能的、実践的な運営訓練を行う必要があります。災害安全対策分科会では令和元年度から、地域防災拠点運営訓練に対して、5年計画での項目を提示し区全体の訓練水準を高める取組を行ってきました。

令和3年度も各拠点で計画項目を含めた訓練を行っていただきますようお願いいたします。

なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で従前の規模・内容で訓練を実施することが難しい状況だったため、令和3年度以降の訓練項目を見直すとともに、令和6年度までの計画に改訂を行いました。

※1…災害による火災・水難・家屋の倒壊など直接的な被害による死ではなく、避難生活の疲労や環境の悪化などによって、病気にかかったり、持病が悪化したりするなどして死亡すること

#### 令和3年度策定訓練計画（令和2年度からの見直し部分は赤字）

年度	実施項目	備考
令和元年度	避難者受付、トイレ対策	済
令和2年度	情報受伝達、特設公衆電話、要援護者対応	コロナ禍で未実施の拠点が多数
令和3年度	<del>区割り、炊き出し</del> 感染症対策（区割りを含む）、情報受伝達、特設公衆電話	実施項目を見直し
令和4年度	要援護者対応、炊き出し	
令和5年度	学校、企業等との連携・夜間訓練	
令和6年度	総合訓練の実施	

(3) 災害時要援護者支援の課題に向けた取組 共助の課題②

みんなにやさしい避難所運営、災害関連死を防ぐ観点から、地域防災拠点の校舎内に災害時要援護者（高齢者、障害者、乳幼児・妊産婦など）用の別教室を概ね3教室確保することが望ましいとされています。昨年度に引き続き、栄区内小中学校長に対して、概ね3教室を確保できるように依頼します。

併せて、別教室を活用した地域防災拠点運営訓練を積極的に行っていただきますようお願いいたします。

<参考>

栄区の災害関連死による死者想定…約 116 人

※熊本地震における直接死と災害関連死の比率から災害安全対策分科会事務局で推計  
(直接死による死者数：災害関連死による死者数=27:73に基づき、栄区の直接死による死者想定 43 人で計算)

総務課防災担当

担当：山口、若林

電話：045-894-8312

F A X : 045-895-2260

E-MAIL : sa-bosai@city.yokohama.jp

# 報告

## 令和2年度地域防災拠点訓練実施状況について

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により従前の規模・回数の訓練を実施することができず、5か年計画の実施項目を達成できた拠点も少数に留まっています。

### 【参考1】地域防災拠点運営訓練5か年計画（令和2年度時点）

年度	実施項目	備考
令和元年度	避難者受付、トイレ対策	済
令和2年度	情報受伝達、特設公衆電話、要援護者対応	参考2参照
令和3年度	区割り、炊き出し	要検討
令和4年度	学校・企業等との連携・夜間訓練	
令和5年度	総合訓練の実施	

### 【参考2】令和2年度地域防災拠点訓練実施拠点及び実施項目（令和3年3月31日現在）

拠点名	訓練実施項目（○）					
	避難者 受付	情報 受伝達	特設公衆 電話	要援護者	トイレ	感染症対策 (座学含む)
公田小	○	○	○			○
笠間小	○	○	○			○
桂台小				○		○
西本郷中		○				○
旧庄戸中	○	○	○		○	○
飯島小						○
桂台中	○	○	○		○	○
本郷小	○				○	○
小菅ヶ谷小	○	○	○			○
小山台小	○	○	○		○	○
西本郷小						○
上郷小	○					○
計	8	7	6	1	4	12

(備考)

- ・訓練実施：12拠点/20拠点
- ・訓練を実施した拠点では、新型コロナウイルス感染症対策の訓練、研修が行われた。
- ・従来の住民を広く募る規模での開催はなく、運営委員会を中心とした規模で行われた。